

## 第 11 回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会 議事録

### 1 日時

令和元年 7 月 25 日（木） 15 時 30 分～16 時 40 分

### 2 出席者

（委員）小林勝衛委員長、堀信幸委員、宗方宏之委員、古和田秀一委員、鈴木一委員  
安藤正則委員、渡辺司委員、三村成子委員、菊地幸次委員、長久保重行委員  
小林成吉委員

（泉崎村）村長、副村長、教育長（以下事務局）  
総務課長、教育課長、事業課長、総務課企画財政係主幹兼課長補佐、  
総務課企画財政係主事 2 名

### 3 議題

- （1）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について
- （2）地方創生加速化交付金（泉崎村魅力発見発信事業）の実施状況について
- （3）泉崎村地域ブランド創出事業計画（泉崎 6 次産業館）の K P I 調書について
- （4）その他

### 4 決定事項・確認事項

- （1）議題（1）について、事務局から効果検証の報告を受け評価を決定。
- （2）議題（2）について、事務局から効果検証の報告を受け評価を決定。
- （3）議題（3）について、事務局から計画の K P I を報告。
- （4）その他について、事務局から今後の予定について報告。

### 5 発言者名、発言者ごとの発言内容

以下のとおり

|          |  |
|----------|--|
| 司会（総務課長） | <p>－開会－</p> <p>定刻となりましたので、次第により会を進めさせていただきます。</p> <p>本日は、ご多忙のところ、第 11 回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。私、本日の進行役を務めさせていただきます総務課 田崎洋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、泉崎村長 久保木正大よりご挨拶を申し上げます。</p>   |
| 久保木村長    | <p>－村長あいさつ－</p> <p>皆さんこんにちは。大変お忙しい中をご出席いただきまして、御礼申し上げます。</p> <p>もう 11 回目になるということでもありますけども、我々ですね、初回に色々策定して、この委員会の趣旨の大枠を作って、それを検証するというので参りたいと、皆さんに見ていただいて、経過を報告させていただいているわけではありますが、必ずしも予定通りにいっているということではありません。</p> <p>そしてまた、新しいこういった地域創生あるいは人口減少対策といったものをまた、途中で色々案が浮かべば、そういったものにプラスアルファして切り替えるということもこれは大事なことだという風に思っているんですが、いずれにしても当初策定した、そういったところは、まず基本のところだということで、説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>また、終了後は懇親会ということで、その中でもまたいろんなご意見をいただければとありがたいと思います。</p> <p>新しくメンバーとなられた方々、多くいらっしゃいますけども、報道機関の民報さん民友さんの方々、そしてまた企業さんも新しくこちらに赴任されて、今までの方と代わって継続してほしいなと思います。我々行政がらみ、村内や近隣の方々はいろんな組織の要職に居られる方が中心となって、そのメンバーが委員になっております。それもいろんな分野の方がいらっしゃいますので、やはり、そういった方々の餅は餅屋で意見を出し合うことによって、我々気付かないところも、環境、仕事が変わりますから、なるほどと思うこともいっぱいあります。そういったことで、忌憚のないご意見をいただければ、提言、提案いただきながら、地域づくりやっしていきたいと思っております。</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 久保木村長 | <p>我々、末端の行政含めまして、教育委員会も含めて、私は比較的<br/>努力しているだろうと思います。</p> <p>少子化の大きな要因としては、出生数の減少が根本にあります。<br/>私は、国の努力、徹底した方針、これが、私はいまいち欠けてい<br/>るんだろうと思います。過去にイギリスなど、国外に目を向ければ、<br/>成功した例はずいぶんあるという風に聞いていますが、そこまで、<br/>まだ本気度が政府の方で足りていないんだろうなという風に私は<br/>思っているんですね。</p> <p>ですから、我々末端が本気になってやれば、少しでも減少対策と<br/>いった、少しでも改善できるんだろうなと思っているのですが、ど<br/>うもその辺は、私も少しいらいらしています。</p> <p>やはり、教育の問題、子育て支援の問題、我々本当に予算の配分<br/>も十分そちらの方にシフトして、我々も真剣に取り組んでいます。</p> <p>子育て支援もそう、教育の問題についても、限界ぎりぎりまで取<br/>り組んでいます。それにプラスアルファして国あるいは県のほうで<br/>もバックアップして、もっと力を入れていただければ、こういった<br/>問題は解決の余地があるんでしょうけども。しかし、そういったこ<br/>とは嘆いてばかりいては前に進みませんから、現状の、今いる子ど<br/>もたちをしっかりと我々教育して、地域の一人ひとりのレベルを上<br/>げていくということをやっけていかなくてはならないし、非常に大事<br/>なことだと思っております。</p> <p>企業さんからの色々な考え方も大いに参考になると思いたすので、<br/>いいアドバイスを伺いたいと思っておりますので、有意義な1<br/>日となりますように皆さんと共に議論させていただきたいと思っ<br/>ております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいいたします。</p> |
| 司会    | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして小林委員長よりご挨拶を頂戴いたします。</p> <p>小林委員長お願いいいたします。</p>   |
| 小林委員長 | <p>ー委員長あいさつー</p> <p>改めまして、こんにちは。委員長を仰せつかっております、小林<br/>でございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変ご多忙の折、委員会に御出席<br/>をいただきありがとうございます。昨年の12月に行われました第<br/>10回の委員会においては、総合戦略の中に盛り込まれている事業の</p>  |

|       |   |
|-------|---|
| 小林委員長 | <p>中間報告を行ったところでありますが、本日の委員会は、国の地方創生の交付金の対象事業について、評価及び検証することが義務付けられております。</p> <p>本日、評価して頂く施策、事業についても、待ったなしの状況で進めていく必要があると認識しております。</p> <p>この後、担当から説明させていただきますが、単に評価していただくのではなく、様々な面から委員の皆様のご意見を頂戴して、現在行われている泉崎村の施策についても見直す必要もあると考えております。</p> <p>従いまして、本日は皆様方それぞれのお立場で忌憚のないご意見、ご指摘を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。</p> <p>なお、委員会終了後に懇親会も予定されているということでございますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> |
| 司会    | <p>－委員の紹介－</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議題に入る前に、人事異動などに伴いまして、委員の交代がございましたので、改めまして委員の皆様のご紹介をさせていただきますと思います。</p> <p>先にお配りしました、名簿順にご紹介をさせていただきます。</p> <p>1番の秋山錠剤の小林利安様は所用により欠席でございます。続きまして、株式会社朝日ラバー管理本部副本部長 堀 信幸様</p>   |
| 堀委員   | <p>昨年に引き続き、よろしくお願いたします。</p>   |
| 司会    | <p>続きまして、泉崎村国民健康保険運営協議会会長の小林勝衛様。</p>  |
| 小林委員長 | <p>小林です。</p>  |
| 司会    | <p>続きまして福島県農業総合センター、農業短期大学校研修部長、宗方宏之様。</p>  |
| 宗方委員  | <p>宗方です、よろしくお願いたします。</p>  |
| 司会    | <p>5番の泉崎村教育委員会、教育長職務代理者、山田睦子様は本日、所用により欠席となります。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 司会    | 続きまして、東邦銀行白河支店長 古和田秀一様   |
| 古和田委員 | 古和田でございます。お世話になります。  |
| 司会    | 古和田様は前任の澤田様よりの引継ぎでございます。<br>続きまして、夢みなみ農業協同組合、泉崎支店、鈴木一様。                                  |
| 鈴木委員  | 鈴木です。よろしく願いいたします。  |
| 司会    | 鈴木様は前任の瀬尾様よりの引継ぎでございます。<br>続きまして、認定農業者会、会長、安藤正則様。  |
| 安藤委員  | 安藤です。よろしく願いします。  |
| 司会    | 続きまして、出席予定ではございましたが、まだ到着しておりませんが、民報社、広瀬様は到着し次第ご紹介させていただきます。<br>続きまして、福島民友新聞社、白河支社長、渡辺司様。 |
| 司会    | 次に泉崎村赤十字奉仕団、会長、三村成子様。  |
| 三村委員  | 三村です。よろしく願いいたします。  |
| 司会    | 続きまして、泉崎村商工会、会長、菊地幸次様。   |
| 菊地委員  | よろしく願いいたします。   |
| 司会    | 続きまして、泉崎村民生児童委員協議会、会長、長久保重行様。  |
| 長久保委員 | 長久保です。よろしく願いします。   |
| 司会    | 続きまして、泉崎村消防団、団長、小林成吉様  |
| 小林委員  | よろしく願いします。   |
| 司会    | 続きまして、村執行部をご紹介いたします。<br>はじめに泉崎村長、久保木正大。  |

|       |  |
|-------|--|
| 久保木村長 | はい。お世話になります。   |
| 司会    | 続きまして、副村長、箭内憲勝。  |
| 箭内副村長 | 箭内です。よろしくお願いいたします。   |
| 司会    | 続きまして、教育長、鈴木一正。  |
| 鈴木教育長 | 6月よりお世話になっております。鈴木でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。   |
| 司会    | 鈴木教育長におかれましては、6月24日付けでの就任となり杉田前教育長からの引継ぎとなります。<br><br>続きまして事務局を紹介いたします。<br>本日は2人の課長に出席をいただいております。<br>はじめに、事業課長、松川和孝。<br>教育課長、緑川利昭。<br>続いて、総務課企画財政係主幹兼課長補佐、小林直義。<br>同じく、主事、北住大輔。<br>同じく、荒井孝彦。<br>私、総務課長の田崎洋でございます。よろしくお願いいたします。<br>それでは続きまして、次第の議事に移りたいと思います。<br>これからの進行は小林委員長にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 小林委員長 | －議事－<br>それでは早速議事に入らせていただきます。<br>本日は、総合戦略に掲げる全ての事業を評価することになっておりますので、時間がかかるかと思いますが、円滑な進行にご協力を頂きたいと思っております。<br>早速ではございますが、案件に入らせていただきます。<br>議題の5、議事（1）泉崎村地域創生まれ・ひと・しごと総合戦略の各施策の実施状況について、事務局より説明を願います。   |
| 事務局   | それでは、議事の1番泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について、ご説明いたします。<br>使用する資料は、資料1と資料2になります。始めに、資料1に   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ついてご説明いたします。</p> <p>まず、総合戦略には基本目標と言うものが5つ設定されております。</p> <p>1つ目の基本目標「人をはぐくむ」と言う基本目標の数値目標が、出生数と婚姻数になっております。</p> <p>この基本目標を達成するために、その下にあります、各施策及び事業に取り組んで行くというのが総合戦略の趣旨であり、資料2はその各施策及び事業の進捗状況を確認するための資料となっております。</p> <p>なお、平成30年度の実績ですと出生数が36人。婚姻数が70組となっており、平成29年度の実績が出生数36人、婚姻数71組ですので、昨年度からほぼ横ばいで推移しております。</p> <p>続いて、資料1の2ページ目をご覧ください。</p> <p>総合戦略の基本目標の2つ目、「しごとをつくる」という基本目標に対して就業者数を平成26年の4,774人から今年度末までに5,500人まで増加させるという数値目標を設定しております。</p> <p>こちらの基本目標の具体的な施策及び事業として、動きがあった事業についてご説明いたします。</p> <p>資料2の9ページをご覧ください。</p> <p>「企業誘致による雇用創出」といたしまして、多様な企業の誘致による雇用創出の推進を図ることとされています。</p> <p>平成30年度においては、新規に誘致した企業はありませんでしたが、過去に中核工業団地において土地売買のあった企業の1社が今年6月に操業を開始しており、新たな雇用の創出が期待されます。</p> <p>また、同じく中核工業団地に土地を購入し、まだ操業に至っていない企業に対しても、引き続き情報提供等支援を継続していく予定となっております。</p> <p>資料1に戻りまして、3ページ目をご覧ください。</p> <p>総合戦略の基本目標の3つ目、「ひとの流れをつくる」という基本目標に対して、村外からの転入者と村外への転出者の差である移動数と観光客の入込数を数値目標として設定しております。</p> <p>平成30年度の移動者数は22名の減と目標値に近い形で推移しており、観光客の入込数は県の調査によりますと、90,706人と平成26年と比較しますと増加傾向にあります。こちらの基本目標の具体的な</p> |
|-----|--|

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>な施策及び事業として、動きがあった事業についてご説明いたします。</p> <p>資料2の23ページ目をご覧ください。</p> <p>事業名が、「若者定住賃貸住宅建設事業」となっております。</p> <p>こちらは、平成30年度に4棟目が完成し、平成31年の3月に入居者が決定しております。</p> <p>また、今年度5棟目が9月末に完成予定であり、10月から11月に募集開始となる見込みです。</p> <p>続いて、25ページ目をご覧ください。</p> <p>事業名が「高速バス乗降場の設置事業」となっております。</p> <p>こちらは、平成30年度におきましては未設置となっておりますが、今年の6月末に工事が完了いたしまして、看板設置等の付帯工事を経て、8月1日に正式オープンの予定となっております。</p> <p>続いて、28ページ目をご覧ください。</p> <p>事業名が「泉崎村の特産品を活かした食育推進事業」となっております。</p> <p>平成30年度におきましては、福島県学校給食地産地消推進事業に取り組み、地場産品を活用した給食を11月と1月の計2回実施しております。また、6月に「はにわの里」がオープンしたことから、地場野菜を購入するなど、地産地消に取り組んでおります。</p> <p>これらのことから、平成29年度における評価はDでしたが、平成30年度の評価はCとしております。</p> <p>資料1に戻りまして、4ページ目をご覧ください。</p> <p>総合戦略の基本目標の4つ目、「安心をつくる」という基本目標に対して、村内の自主防犯組織数と地域密着型サービスの利用者数を数値目標として設定しております。</p> <p>平成30年度末時点で自主防犯組織の結成はありませんでしたが、地域密着型サービスの利用者数につきましては、平成30年度末の実績で29名と目標を達成しております。</p> <p>基本目標の具体的な施策及び事業としまして、資料2の36ページ目をご覧ください。</p> <p>事業名が「コミュニティ交通の充実事業」としまして、ふれあい号の利用者数をKPIとして設定しております。</p> <p>平成30年度に運行経路の見直しを行ったところ、利用者が1割増加しました。</p> |
|-----|---|

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>加えて、買い物号の利用が定着してきており、全体で平成 29 年度と比較して 25%の増となりました。</p> <p>これにより平成 30 年度の実績値が目標値の 109%となったことから評価はAとしております。</p> <p>続いて、資料 2 の 45 ページをご覧ください。</p> <p>泉崎村ボランティア連絡協議会の機能強化事業としまして、村内のボランティア団体数を KPI として設定しております。</p> <p>平成 29 年度時点では 9 団体がボランティア連絡協議会に参加していましたが、団員の減少や高齢化により活動が困難になった 2 団体が平成 30 年度に脱会しており、このことから担当課評価が B から C へと変更になっています。</p> <p>資料 1 に戻りまして、5 ページ目をご覧ください。</p> <p>総合戦略の基本目標の 5 つ目、「まちをつなぐ」としまして、しらかわ地域定住自立圏協定に基づき実施する事業数を数値目標として設定しております。</p> <p>平成 30 年度末の実績は 17 事業と平成 29 年度末の 13 事業から増加しているものの、目標値である 41 事業には届いていないため、引き続き共生ビジョンに掲載している事業を実施するよう各担当課へ要請するとしております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> |
| 小林委員長 | <p>ありがとうございました。評価方法でございますが、村の自己評価に対しまして皆さんのご意見がなければ、委員会としては自己評価通りとさせていただきたいと思っております。また、村の自己評価と異なる評価をする場合には、委員会としてその判断理由のコメントを付したいと思っておりますが、以上のような評価の仕方をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>  |
| 小林委員長 | <p>ありがとうございます。それでは評価に入らせていただきます。泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況についての、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>ただいまの評価に対して皆様からのご意見がございましたらお聞かせ願いたいと思っております。</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 小林委員長 | <p>それではこの評価は自己評価のままで、よろしいということで、結構でございますか。</p> <p>(異議なし)</p>  |
| 小林委員長 | <p>それでは異議がなければ次の議題に杯らせていただきます。</p> <p>次の議事(2)の地方創生加速化交付金、泉崎村魅力発見発信事業の実施状況について、事務局説明願います。</p>  |
| 事務局   | <p>それでは、(2)地方創生加速化交付金の実施状況についてご説明いたします。</p> <p>資料3をご覧ください。</p> <p>泉崎村魅力発見発信事業といたしまして、平成28年に3,600万円の交付金を受けて事業を実施いたしました。平成29年度からは村の単独事業となっており、村の事業費のみで事業を進めております。</p> <p>まず、1ページ目の鳥峠を中心とした各種取組についてご説明します。</p> <p>本事業は、KPIの目標事項を3つ定めておりまして、1つ目が「鳥峠等案内人の養成研修会開催件数」で、こちらは平成30年度末の実績が3回となっており、達成率が60%</p> <p>2つ目が「魅力発信に係る大会・イベントの開催」でこちらが計7回開催し達成率が140%</p> <p>3つ目が「村の伝統芸能を継承する団体数」でして、こちらは平成30年度末で2団体と達成率が50%となっております。</p> <p>次のページに移りまして、2ページ目をご覧ください。</p> <p>上段に平成30年度の具体的な取り組みがございます。</p> <p>大きなものとしましては、4月7日に行われた「かたくり祭り」こちらはのべ150名の参加がありました。</p> <p>また、元日に行われました日の出を見る会にも約100名の村民の方が参加されております。</p> <p>なお、担当課の評価としましては、B評価となっております。</p> <p>次に、3ページ目をご覧ください。</p> <p>「移住者限定・賃貸住宅斡旋に関する取組」といたしまして、若者世代の定住者を増やすため、村の分譲地である天王台ニュータウン及び譲渡型賃貸住宅のPR活動を実施しております。</p> <p>KPIにあります「田舎暮らし体験プロジェクト」につきまして</p> |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>小林委員長</p> | <p>は、平成 30 年度においては未実施となっておりますが、募集チラシ・ポスター、テレビ放映による周知活動や移住希望者を対象にバスツアー、そば打ち交流会、餅つき交流会などのイベントを実施しました。</p> <p>担当課の評価としましては、B 評価となっております。</p> <p>簡単ですが、以上で説明を終わります。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは評価方法でございますが、先ほどと同じように村の自己評価に対して、皆さんのご意見がない場合は、委員会としては村の自己評価通りとさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| <p>小林委員長</p> | <p>皆様の方から気づかれたことがあれば何なりと。</p> <p>教育課長、烏峠の峠山には学校の授業でクラスごとに登ったりすることはあるの。</p>  |
| <p>教育課長</p>  | <p>はい、幼稚園、小学校やっております。つい先日も小学生が烏峠の方で、大声大会とかそういったものをやりまして、これは教育事務所の先生方も見学されました。先ほど昨年の実績のところにもあったかと思いますが、これは基本的に令和元年度も継続的に事業実施するというので、子どもたちの情操教育の一環として続けたいと会のメンバーの方が話しておりました。</p>  |
| <p>小林委員長</p> | <p>その本殿なんかを子どもたちに見せるときは誰か専門家を</p>   |
| <p>教育課長</p>  | <p>はい、例えば村の文化財などにつきましては、資料館に嶋村という村の学芸員がおりますし、今回については烏峠の宮司の方から説明を受けて取り組みをおこないました。</p>  |
| <p>小林委員長</p> | <p>何か他にございませんか。</p> <p>観光客数っていうのは、烏峠の来場者も含まれているの。</p>   |

|       |  |
|-------|--|
| 久保木村長 | この観光客数というのは温泉の入浴者数なのか。   |
| 事業課長  | <p>毎年、県の観光推進課から統計的な数字の提出が求められておりまして、その際に答えている数字でございます。</p> <p>その中にはカントリーヴィレッジの利用者数も含まれておりますが、パークゴルフ場の利用者数等の位置づけはございません。</p>  |
| 小林委員長 | 入浴者はある。  |
| 事業課長  | 入浴者というか、カントリーヴィレッジの利用者数はございます。   |
| 渡辺委員  | いいですか。   |
| 小林委員長 | はい、渡辺さん。   |
| 渡辺委員  | 移住者限定のこの取り組みについて、令和2年までに10世帯が目標とありますが。希望者がいないということなんですか。PRはしたけども。  |
| 事業課長  | <p>田舎暮らし体験プロジェクトと記載してございますが、PRの方法等に問題があったと思われませんが応募者がいなかったということでございます。</p> <p>計画の中に子育て世代の定住者を増やすために、村の分譲地である天王台ニュータウン及び譲渡型賃貸住宅のPRを行うということでございますが、実際のところ応募がなかったということでございます。</p> |
| 渡辺委員  | <p>これは今年度も実施するんですか。</p> <p>補助金は5年間使えると言う意味でいいんですか。</p>   |
| 教育課長  | 年数のことについてご説明いたしますと、平成27年度に村の総合戦略を策定しまして、その計画策定から5年間の計画を作っておりますので、この5年間というのは補助事業のことではなく、村として作った計画が5年スパンで考えるということでございます。令和2年度からは、また新しい計画を作り直すということになるかと思えます。                     |

|      |   |
|------|---|
| 渡辺委員 | この事業には国の交付金を使っているんですか。  |
| 教育課長 | <p>国の交付金につきましては、単体で、先ほどご説明申し上げた泉崎村魅力発見発信事業というものにつきましては、国の交付金をいただいておりますが、現在はいただいております。1年限りの補助金であるとか、2、3年続くものもあるんですが、今ご指摘の3ページ目のところにつきましては、既に補助金の事業は終わっているということで単独の事業となっております。</p>  |
| 事業課長 | <p>すみません、先ほど、世帯としての参加者はなかったということで30年度の実績は0となっておりますけども、同じく3ページ目の下段、取り組みということで、定住促進戸建て住宅の募集のチラシ、これは県南管内にお配りしています。募集の中身といたしましては、村外からの世帯としての移住を目的としておりますので、村外においてチラシの配布を行ったところでありまして、先ほど別な項目にございましたが、戸建て賃貸住宅に1世帯の入居があったということでございます。したがって、先ほどの体験プロジェクトの1つのメニューの実績としましては1世帯と言う風にも言えるかと考えております。</p> <p>それから、具体的な取り組みの中の2点目、PRのためのポスターの作成とあわせて、観光PR事業が県南管内で各市町村参加の下で、関東方面で行われる際には、ニュータウンのパンフレットなどを配布して、できれば交流して、移住をしてもらうという風なところを目標に展開しております。</p> <p>それから3点目のe-村民につきましては、バスツアーということで平成30年度におきましては、村の大きなイベントの1つである桜ウォークにあわせて、バスツアーを企画しまして、首都圏からお客さんを招いたところでございます。これは世帯での参加というよりは、個人での参加ということで、泉崎村の魅力を感じていただくために実施したものでございます。</p> <p>それから、そば打ち交流会、餅つき交流会でございますが、これはe-村民ということで、既に村に移住されている方々が、より泉崎村に馴染んでいただくために、村内の農家の方々と一緒になってそば打ち体験あるいは餅つき交流を行うということで、定住してよかったと感じていただけるような場を設けるといった趣旨で行っているものでございます。</p> |

|       |   |
|-------|---|
| 小林委員長 | <p>他にございませんか。</p> <p>(意見なし)</p>   |
| 小林委員長 | <p>なければ評価に入らせていただきますが、ご意見ございませんか。</p> <p>評価は自己評価のままでよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>  |
| 小林委員長 | <p>それでは、次に(3)泉崎村地域ブランド創出事業計画(泉崎6次産業館)のKPI調書について事務局からの説明をお願いします。</p>   |
| 事務局   | <p>それでは、(3)泉崎村地域ブランド創出事業計画のKPI調書についてご説明申し上げます。</p> <p>資料4をご覧ください。</p> <p>まず、泉崎村地域ブランド創出事業計画について、ご説明申し上げます。</p> <p>泉崎村地域ブランド創出事業計画は、地方再生法に基づく地域再生計画として認定された計画でございます。</p> <p>有機栽培による作付けに取り組みや、6次産業化による加工食品の販売に取り組むことで、特産品の相互販売による売上げ増や地産地消による地域内の経済の好循環を生み出すことなどを目的とした計画でございます。</p> <p>この計画には、KPIが3点設定されておりまして、1つ目が泉崎6次産業館はにわの里の販売収益です。</p> <p>計画では平成30年度は394万5千円の収益を目標としておりましたが、売上損益723万4千円に対し、販売・一般管理費1,394万2千円、差し引き670万のマイナスとなっております。</p> <p>KPIの2つ目が6次産業館における雇用者数となっております。</p> <p>6次産業館における雇用者数につきましては、店長1名、直売所部門に4名、飲食部門に4名の計9名を雇用しておりますが、パートタイムでの勤務の方が大半であり、フルタイム換算では5名となっております。</p> <p>KPIの3つ目、有機栽培に関わる農業就業人口ですが、計画では10名のところ、実績は2名となっております。</p> <p>なお、今年度以降の計画値につきましては、平成28年度時点の</p> |

|       |   |
|-------|---|
| 事務局   | <p>計画でありますので、今後見直し等を検討してまいります。</p> <p>令和元年度の取り組みと致しましては、特産品や加工品の開発を積極的に進めていくとしまして、具体的には、お客様から要望の多い「菓子パン」の販売。こちらは既に実施済みでございます。</p> <p>また、ふくしま地域産業6次化イノベーター派遣事業を活用しまして、6次化商品開発に向けて取り組んで行くことなどとしております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>   |
| 小林委員長 | <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは評価方法でございますが、先ほどと同じように村の自己評価に対して、皆様のご意見がない場合は、委員会としては村の自己評価通りとさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>   |
| 小林委員長 | <p>それでは、評価に入らせていただきますが、ご意見ございませんか。</p> <p>はい、安藤さん。</p>  |
| 安藤委員  | <p>特産品ということですが、前にもお話しさせていただきましたが、我々のアイデアと言うのは、ある程度限られた知識しかなくて、変わった知識というのは我々と大学辺りが連携して、成功している町とかもあるようであります。例えば花、近畿大学の指導を受けて花の栽培をして成功したという事例もございます。最近見かけたのは、温泉水活用した事例というのもテレビで見かけました。我々だけのアイデアだけではなくて、大学あたりと何か情報交換をしながら、特産品作りに取り組めば、いいアイデアが出てくるのではないかとこのことを切に思っております。</p> |
| 小林委員長 | <p>はい、事業課長</p>  |
| 事業課長  | <p>先ほど、事務局の説明の中でもございましたが、ふくしま地域産</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>業6次化イノベーター派遣事業という県の事業でございますが、こちらを利用して6次化に向けてどういった施策に取り組んでいけばよいかという基本に立ち返った形でご指導いただきながら、方向性を見出していければという風なのが1つございます。それと、昨年この会議に参加させていただいた際に宗方委員さんから農業短期大学校でも加工品の開発等については、講習会、研修会といったものを開催しているという情報もいただいておりますので、今後積極的に参加させていただければという風に考えております。ただ、今例に挙げたような、例えば近畿大学、福島県で言えば福島大学になるのかと思いますが、なかなかいきなりそこまでの連携を早急に作る事が可能かどうかというところがございますので、まずは近くにある短期大学校さんと情報をいただきながら方向性を見出していければという風に考えております。</p>                        |
| 小林委員長 | <p>他にございませんか。<br/>はい、長久保さん。</p>  |
| 長久保委員 | <p>少し前に戻るんですが、色々イベント、バスツアーなんかやりますよね。あとそば打ち体験とか。<br/>そういったなかで、来てもらって日帰りで帰るのではなくて、例えばこういう施設に泊まらせていただいて、次の日には野菜を収穫して食べてもらう。そうすると必ず都会で売っているようなやつよりは美味いはずなんです。もぎたてですから。収穫して都会に出荷してっていう間にかかなり味は落ちるはずなんです。それでも都会の人たちは美味いって言って食べてるんですから、ここに来て食べてもらえば、その何倍もおいしいはずなんです。この辺のものは夢みなみ農協ということで出荷しているんですが、その農家のものを収穫して食べてもらえば、それが泉崎のものが美味い。夢みなみのブランドから泉崎のブランドになるはずなんです。ぜひそういった体験をやっていただければ、それが定住にも繋がるようにやっていただければいいんじゃないかと思えます。</p> |
| 小林委員長 | <p>バスツアーというのは何月にやっているの。</p>  |
| 事務局   | <p>平成30年度は4月の桜ウォークに合わせて実施しております。</p>   |
| 小林委員長 | <p>季節的な問題だね。<br/>4月では野菜はできないからね。</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 小林委員長 | <p>野菜なら今って感じですね。<br/>村長さん何か。</p>  |
| 久保木村長 | <p>そういう考え方が大事だなと思うんですが、私もその前にですね、全て陣頭指揮を執るわけにもいきませんから、非常にその辺のジレンマはあるんですが、例えばバスツアーにしろ、e-村民の交流会にしろ、同じ発信の仕方をしているんですね。どこかに委託して発信するというようなやり方。あるいはe-村民に直接訴えるようなやり方で呼びかけるんですけども、呼びかけの中身がほとんど一緒なんですよ。</p> <p>そして参加者もほとんど同じ。毎年同じ顔ぶれになるんですよ。じゃあ、その方々が本気になって村に移住したいという思いで何回も来ているかという、私にはそうは見えないんですね。来たときにお話しもするんですけど、そうするとイベントに参加して、食べ物もありますから、そういったものを食べて、そういったことで終わってしまっているのが現実なんです。</p> <p>だから、私は担当の方に、今日は責任の課長もいるんで、そこから担当の方に違う発想をして、本当に移住を希望している人に発信すると言うやり方を真剣に考えて欲しいと思っているんですけども、そのところが残念ながら形式的にやっていると、いうことに過ぎないので今は結果がでないんだろうと思っています。</p> <p>ですから、そこから発想を新しく、担当者も人事異動なんかも含めてあるわけですから、そういう人たちの意見も非常に新鮮なんですよ。我々は行政の責任者ですけども、そのところを担当に考えていただいて、やっていかないと同じなんですよ。</p> <p>ですからそこが少し残念なところだなと。そしてその辺が相手が真剣に考えていく、あるいはメンバーが変わっていく中で、そういったことをやっていけば、私は本当に効果があるんだろうと。もう少し行政として努力していかなければならないところがあるんだろうという風に思います。</p> |
| 小林委員長 | <p>事業課長、新しい人を連れてきてくれた人には何か特権のような、例えばカントリーヴィレッジの宿泊券をプレゼントするとか、今村長が言うように固定客、飲食店なら固定客でもいいんだろうけど、毎回メンバーが同じで村長が話しても泉崎村に移住する考えもない。ただ空気を吸いにくるのかな、ただ暇だから来るといった感じよりも、新しい人を連れてきたらそういう特権もやるとか、野菜のお土産をやるとか。ただ季節的にも4月だから。はい、どうぞ</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 事業課長  | <p>30年度実施が今4月ということでありましたけども、時期の設定につきましては、頂きましたご意見等を参考にしながら、今後検討していける内容であるなど考えております。それから今会長さんがおっしゃられたような何か特権をつけるというようなものも、当然ながら経費的な部分も考えながら実施していかなければならないところでもありますので、そういった部分も考慮しながら検討して参りたいと思います。</p>   |
| 小林委員長 | <p>一回のバスツアーで泉崎村に住んでみたいという人が1人でも出てくれば、大成功だと思いますよ。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>はい、三村さん。</p>   |
| 三村委員  | <p>泉崎村6次産業館全体の販売収益が平成30年度から令和になって非常に多くなっていますが、目標は高く持ったほうがいいと思うんですけども、どういう方向で販売を伸ばして行くのでしょうか。</p>   |
| 小林委員長 | <p>はい、事業課長</p>   |
| 事業課長  | <p>資料4にございます目標値につきましては、このKPI調書を最初に作った当時の計画のまま載せております。30年度実績がマイナス670万というところからいきなり1,000万を超える収益につながるのには非常に厳しい状況であると言うことは、感じているところであります。</p> <p>しかしながら、最初の説明にもございましたが、売れる商品をなるべく店頭に出すということで、パン菓子の販売の検討ということで、これにつきましては既に実施をしております。</p> <p>それから、6月には開店一周年祭ということでイベントを行ったところでもあります。そういったイベントを行いますと、やはりそれなりの効果がございまして、通常の5倍から6倍の来場者数、売上となっているところであります。</p> <p>また、その際にも実施したのですが、鮎や岩魚などの焼き魚の提供などを行うことでお客さんに来ていただくと。あるいは今中央公民館で実施しておりますいずみざきマルシェに出店している方に声掛けをしたところ出店希望の方がすぐ集まり、またそれを目当てに来場者も相当な数集まるということもございまして、集客に向けてそういった事業を展開できればということで、はにわの里との</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 事業課長  | <p>打合せの中では案として出てきているところでもあります。</p> <p>一気に運営状況を好転させる起爆剤のようなものが何なのかは、中々見つけ出しにくいところではございますけども、そういったイベントあるいは新しい商品の開発、それと平行しまして、先ほども大学との連携と言った話もございましたが、特産品の開発といったところを急ぐことによって、平成 30 年度の実績のマイナス 600 万これを少なく、更には黒字に転換できるような方向で各種施策を考えていければという風に考えております。以上です。</p> |
| 小林委員長 | よろしいですか。三村さん。  |
| 三村委員  | はい。  |
| 小林委員長 | 安藤さん。  |
| 安藤委員  | <p>こころやさんなんかでは、各曜日に移動販売、市街地に出て移動販売をされているようなんですね。そうすると出荷者も安心して結構な量、収穫できる部分がある。何曜日と何曜日は移動販売しますから倍出してくださいっていうような。そうするとやっぱり売上があると生産者もある程度計画しやすくなるのかなと。</p> <p>あとは矢吹町では軽トラ市。そういう風な農家さん自身がはにわの里に直接出向いて月 1 回とかといった形で出荷した農家さんにも直接参加していただくイベントなんかもありなのかなと。</p>      |
| 小林委員長 | <p>矢吹の軽トラ市はもう何年も。</p> <p>菊地さん、あれは商工会でやっているの、青年部。</p> <p>あれは、泉崎でも参加できるの。</p>  |
| 菊地委員  | あれは、矢吹町自体で、商工会が協賛と言う形でやってはいますけど。詳しいことは私もちょうと、中には入っていないので。  |
| 三村委員  | あれは、矢吹町以外の人も、中島の人とかも行ってますよ。  |
| 安藤委員  | だから泉崎もあれを真似して、こう、出店のようなものを開いたらどうかと。あそこの場所に 1 回来てもらおうというのが大事なかな。  |
| 小林委員長 | 軽トラ市じゃなくて、軽トラに 6 次館の品物積んできてパークゴ  |

|       |  |
|-------|--|
| 小林委員長 | ルフの会に売りにきたら。はい、どうぞ。  |
| 事業課長  | <p>只今ご意見いただきました、外販であります、現在も平日は身近なところという感じですが、役場、JAの泉崎支店さん、それから社会福祉協議会、それから幼稚園、保育所の先生たちに向けての外販もやっております、平日は4時過ぎくらいに車に積んだもので、施設を回って外販を行っています。</p> <p>こころんさんのような外販用の車両、冷蔵ができるようなものがない、通常の軽ワゴンでありますので、傷みの早いものは中々取り組めない状況でございます。外販ですとそれなりに買っていただけるといってこれは継続して実施しているところです。それから軽トラ市ということで話しがございましたが、企画の段階ではございますが、コンテナ市ということで中身は同じなんですけれども、農家さんにコンテナに入れた野菜を持ってきてもらって、農家さん自身で打っていただくと言うようなコンテナ市というものを企画しております。以上です。</p> |
| 小林委員長 | <p>それでは、皆様から様々なご意見をいただきましたが、ご意見はご意見として参考にさせていただきます、その他異議がなければ（4）のその他に入らせていただきたいと思いますがよろしいですか。</p> <p>（異議なし）</p>  |
| 小林委員長 | それでは、事務局の方から（4）のその他について何かございましたら。  |
| 事務局   | <p>委員の皆さま、ありがとうございました。</p> <p>今後の予定につきましては、本日、各委員の皆様からいただいた各事業に対する評価やご意見を踏まえ、事務局の方で、まとめさせていただきます、各委員の皆様へ送付したいと考えております。</p> <p>まとめた結果につきましては、国や議会へ報告する資料にしたいと考えております。</p> <p>なお、現在の「泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略」は今年度までの計画となっております、令和2年度向けに第二期戦略を現在策定中でございます。</p> <p>冬に予定しております第12回委員会の際には、その素案を皆様にご審議いただく予定でございますので、よろしくお願いいたしま</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>す。<br/>以上でございます。</p>  |
| 小林委員長 | <p>事務局の方から今後の日程等について説明ありましたが、皆さんの方から<br/>ご意見がございましたら。</p> <p>(異議なし)</p>  |
| 小林委員長 | <p>それでは質問がなければ、本日予定しておりました議事は全て終了とさせていただきます。皆様から大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。長時間にわたりご審議ありがとうございます。</p>   |
| 司会    | <p>皆様から貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>頂いたご意見等については、担当課へ繋ぎまして、よりよい方向に事業を進めていく所存でございます。</p> <p>それでは以上をもちまして、第 11 回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を終了とさせていただきます。</p> <p>なお、午後 5 時から、1 階の和室にて、懇親会を開催させていただきますので、ご移動のほど宜しくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> |